

<b>学校教育目標</b>	○自ら学ぶ子 知:自ら進んで学習に取り組み、見方・考え方を働かせ、友達と協働して解決に向かって学び続ける子を育てます。(学び続ける子) 徳:多様な人とかかわりを通して思いやりの心をはぐくみ、自分や相手を大切にすることを育てます。(共に生きる子) 体:自分の体や心に関心をもち、健康的な生活を送ろうとする子を育てます。(健やかな子) 公:地域の材に学びながら地域に愛着をもち、地域に進んでかかわろうとする子を育てます。(浦島の子) 開:多様な人とのコミュニケーションを通して視野を広げ、持続可能な社会の創造に向け行動しようとする子を育てます。(未来を創る子)				
	学校概要	創立 99 周年	学校長 鳥山 真	副校長 臼井 亮司	2 学期制 一般学級: 18 個別支援学級: 3 児童生徒数: 536 人 主な関係校: 浦島丘中学校

<b>教育課程全体で育成を目指す資質・能力</b>	<b>浦島丘中ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
<課題解決能力> <自分づくりに関する力>	浦島丘中学校 浦島小学校 子安小学校 神奈川小学校	人とのつながりを大切に、ねばり強く社会を生きぬく子 ・9年間で育てる子ども像を共通理解していくために、小中担当者会で取組について話し合ったり、年間2回の授業研究会を行ったりする。 ・児童生徒交流日等を通して、6年児童が中学校生活を理解し、スムーズに中学校生活をスタートできるようにする。 ・中学校吹奏楽部のコンサート鑑賞を通して、児童の中学校への理解を深める。

<b>中期取組目標</b>	○人、社会、未来とのつながりを大切にする子どもを育てます。 ・多様な人と学ぶ中から、人権意識の高い子どもを育てます。 ・意欲的に取り組む学びを通して自分の生き方を考え、持続可能な社会づくりを意識できる子を育てます。 ・地域で活動する人の姿から学び、地域とのつながりを大切にする子を育てます。 ・子どもたちの学びの充実のために、学校・家庭・地域で教育活動について見直します。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当 重点研・B部会	①重点研究に「算数」を取り上げ、自分の考えを表現し、伝え合う活動を通して、思考力・表現力を高め合う子どもの育成を目指す。思考力が高め合えるような単元・授業づくりや思考の過程が見えるような教師の手立てや場の工夫をする。 ②教科等間の相互の関連付けや横断を図り、年間の学習プランを立て、実践し、改善していく。
<b>豊かな心</b> 担当 A部会・D部会	①継続的にあいさつ運動を行い、自ら進んであいさつする子どもの育成を目指すとともに、家庭や地域と連携しながら、さまざまな行事を通して体験を共有することで子どもの自尊感情を育て、自分を大切にする心を育む。 ②定期的なたたわり活動を通して、異学年との交流を深め、他者との関わり方を学ぶとともに思いやりの心を育む。
<b>健やかな体</b> 担当 C部会・体育部	①月1回のすくすく委員会、年2回のすくすく会議を開催し、児童が自ら考え、全学級で主体的に自分達の健康の保持増進を図る。 ②いきいきタイムを活用し、運動への興味・関心を高めるとともに、体力の向上と健全な心身の育成を図る。
<b>児童生徒指導</b> 担当 A部会	①児童指導専任を中心に、児童指導部会、職員会議、学年研究会等で、児童の共通理解を図り、全職員で共有して指導に当たるとともに、職員研修の充実を図り、児童理解、児童指導・支援のあり方について学び、実践する。 ②児童一人ひとりに、よりよい指導を行うことができるように、学校カウンセラーや関係機関との連携を充実させていく。
<b>地域連携・学校運営協議会</b> 担当 D部会・教務	①生活科や総合的な学習などで、地域の材を生かした学習に取り組み、地域への理解を図るとともに、地域に関わろうとする態度や大切にしようとする気持ちを育む。 ②年3回学校運営協議会を実施し、学校教育についての理解を深めるとともに、協議会での意見を教育活動の改善につなげる。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援委員会	①さわやか教室や国際教室での「取り出し」指導を効果的に行い、配慮を要する児童の指導・支援を充実させる。 ②学校カウンセラーや関係機関との連携を活用した児童理解をもとに、個々の指導・支援を充実させたり、指導・支援の共通化を図ったりするとともに、指導の経過が確実に引き継がれるよう、個別の教育支援計画・指導計画等への記入機会を充実させる。
<b>いじめへの対応</b> 担当 A部会	①教科分担任制を取り入れて複数の目で児童一人ひとりを見取ったり、年3回のアンケートや児童面談を行ったりすることで、いじめの早期発見、迅速な対応に努める。 ②担任と児童支援専任の連絡を密にするとともに、月1回のいじめ対策防止委員会を開き、教職員全体で情報共有に努め、いじめの解消に向けて取り組む。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 メンターチーム・教務	①メンターチームでは、教科や評価についての研修会や授業研究など、月1回の研修活動を行い、教職員としてのスキルを高める。 ②教科分担任を取り入れるなどして、教職員としての資質向上を図るとともに、協働して学校運営を行う。 ③職員の時間外勤務を昨年度より減少させるためにプロジェクトチームを中心に、教育内容、事務内容の精選と運用の工夫を行う。